

令和8年度福岡市食育推進会議 議事録

1 日 時 令和8年5月11日(月) 14時30分～15時30分

2 場 所 福岡市役所15階講堂

3 会議次第

報告 第4次福岡市食育推進計画の進捗状況について

議事 第4次福岡市食育推進計画期間の見直しについて

4 傍聴等

傍聴人 0 人 報道機関 3 社

<議事録>

1 開会

【事務局】

令和8年度福岡市食育推進会議の開催にあたり、委員26名のうち20名の出席があり、出席者が過半数を超えているので、福岡市食育推進会議条例第6条第2項によりこの会が成立することを報告。

会議終了後に議事録を作成し、各委員に確認後、会議資料とあわせて市ホームページにて公表することを説明。

2 報告 第4次福岡市食育推進計画の進捗状況について

【事務局】

報告資料「第4次福岡市食育推進計画の進捗状況について」に沿って、基本目標ごとの施策・事業の内容と実績、関係団体の取組み事例、具体的な目標値の現状値について、また、委員からの事前質問の内容と回答について説明。

【議長】

ただ今の報告について、ご質問、ご意見をいただきたい。

【委員】

食育は健康な心身を育て、食と農、地域社会を結びつける重要な施策だと考える。また、地場産の農産物を活用した地産地消の学校給食推進、子供たちが安全安心な給食を通じて、栄養や食文化、農業への理解を深めることが大変大事だと思う。

学校給食をめぐる大きな話題になっている、牛乳なし給食について、関係委員2名におたずねしたい。

学校給食は経済的に困難を抱える家庭の子供にとって重要な栄養源であり、セーフティネットでもある。4月15日の給食では、市立中学校、特別支援学校で牛乳の代わりにお茶が出され、この日の給食のカルシウム量が211mgであり、福岡市の学校給食摂取基準である450mgに対して、不足分は239mgで摂取基準の

半分以下となっている。さらにエネルギー量全体では基準値より約1割低かったと報じられている。これは、基本目標Ⅰの施策19番（栄養教諭による食育推進）で掲げられている「栄養バランスに配慮した食生活への理解と実践」や、施策21番（学校給食コンテスト）で掲げられている「栄養バランスの知識や理解を深める」という食育推進計画の目指す姿に逆行しているのではと思うが、所見を伺いたい。

地場産の農畜産物を活用した地産地消の学校給食を推進し、地域農業の振興と食育を結びつけることはとても大事だと思う。特に酪農は飼料価格高騰などとても厳しい状況にある。酪農や生乳業界は、子供たちの健康と学校給食を支えることに使命感を持ってきたのに、簡単に要らないとされるのは悔しくて残念だと新聞上で言われている。業界の子供たちへの熱い思いに対する裏切り行為だと思うが、所見を伺いたい。

【委員】

月1回の和食の日にお茶を提供という形で、子供たちに対して、日本の文化、和食の文化ということ、食育の観点で進めていきたいと考えている。特に福岡市はお茶が日本で最初に入ってきたということもあり、お茶に関する文化を子供たちにも広げていく必要があると思う。

栄養面、特にカルシウムについてだが、昨年度福岡市の中学校給食のカルシウム量は、年間を通して一食平均419mgであった。一方、文科省の調査によると、全国平均は375mgであり、福岡市は全国平均を上回っている。また、政令市において450mgという基準値を上回っている市は1市もない。

カルシウムはなかなか摂取が難しいが、月単位、年単位で、昨年度同等のカルシウム量の提供をしていきたい。また、お茶を提供するという文化を、しっかり子供たちに伝えていくことも非常に大事なことで、栄養面と両立できるように、いろいろと検討していきたい。

【委員】

第一次産業の皆さまの安定した収入の確保と、食育、地産地消の推進につなげるため、学校給食への食材の提供などについて、JA、学校給食公社等と連携し、いつの時点でどんなものをとり入れていくのかということ、野菜を中心に、JAを通じて生産者としっかり話をさせていただき、取り組んでいるところである。

畜産についても非常に厳しい状態であることは承知している。2月議会で畜産業の皆さまへの補助金を補正予算として計上した。これをできるだけ早く取り組むほか、地域資源を飼料として活用している畜産農家もおられるので、そういった方に対する支援にも取り組むことで、市内の畜産業をしっかり支援していきたい。

【委員】

栄養教諭からは「カルシウムが不足する。給食は栄養源を満たすことが大前提」といった反発の声が上がっている。「西日本新聞」には「市長の一声『改革』唐突」と書かれているが、これは現場を無視したトップダウンの強行であり、教育の自主性・専門性を踏みにじるものである。結果として科学的な根拠に基づいた栄養基準を事実上引き下げることになり、子どもの健康成長を保障する行政の責任を放棄するものだと指摘しなければならない。栄養バランスをどう確保するかは、食育の根幹であることを申し上げて、私の意見とさせていただきます。

3 議事 第4次福岡市食育推進計画期間の見直しについて

【事務局】

議事資料「第4次福岡市食育推進計画期間の見直しについて」に沿って、次期計画は、食育基本法と地産地消法に基づく計画とすること、福岡県食育・地産地消推進計画との整合性を図ることなどから、現行の計画期間を1年延長し、目標値は据え置き令和9年度に評価を行うことなどを説明。

【議長】

ただ今の説明について、ご質問、ご意見をいただきたい。

<質問、意見なし>

本日いただいたご意見やご提案等の取り扱いについては、会長に一任していただきたいが、よろしいか。

<異議なし>

議事は以上で終了とする。

4 閉会

【事務局】

今後とも、福岡市の食育の推進に、ご協力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。